



新年あけましておめでとうございます。

本年も、広報紙「みずおと」にて鮭川出張所管内を紹介していきます。

広報紙ならびに鮭川出張所をどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

R5水門等水位観測員講習会が開催されました！



鮭川出張所長から鮭川管内の話がありました。

令和5年12月22日(金)に令和5年度水門等水位観測員講習会が行われました。これは排水樋門・樋管の操作に従事している方を対象に行っています。講習会では出水時の操作を確実なものとするため、水門等水位観測員の役割や樋門の点検整備や操作などの対応方法について確認を行いました。

水門等水位観測員の仕事

わたしたちを守るために働いています。

わたしたちは、川からいろいろな恵みを受けて生活しています。しかし、人に恵みを与える川も洪水などで大切な家族や財産、そして時には命まで奪ってしまう存在でもあるのです。昭和50年8月6日に起きた「真室川災害」。真室川町全域が集中豪雨に見舞われ、河川が氾濫し堤防の決壊や橋の倒壊、土砂崩れが起きたくさんの田畑や家屋が浸水し、濁流にのみ込まれ莫大な被害をこうむりました。このような災害を防ぐために、護岸整備や堤防を強化する工事が行われてきました。また、このような取り組みだけではなく、「水位観測員」の人達の努力があることをご存じですか？

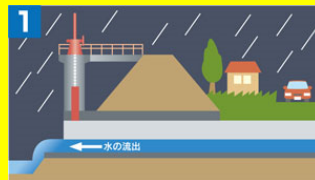
水位観測員とは…？

洪水により必要となる樋門・樋管の操作(扉の開閉)を水門等水位観測員として地元の方に委嘱しています。水位観測員は、川の水位の上昇で逆流の恐れが生じた場合出動し、樋門・樋管の扉を閉めます。現地にとどまり、定期的に水位を観測し、逆流の心配がなくなった時点で扉を開け、操作が終了します。その他平常時には、毎月樋門・樋管点検(積雪時期を除く)も行っています。鮭川出張所管内では、56名の水位観測員の方が在籍しています。

樋門・樋管操作は昼夜を問わず、長時間にわたる大変な仕事であり、地域の人たちの安全と財産を守るとても重要な役割を果たす仕事です。



排水樋門・樋管の役割



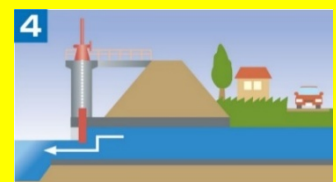
1 平常時や川の水位が低いときは、樋門・樋管の扉は開いており、生活排水や雨水を川に流しています。



3 樋門・樋管の扉を閉めると、住宅側の水の行き場がなくなり、住宅地が浸水する場合があります。そのため内水被害が発生する場所には排水機場設置や、排水ポンプ車で排水するなどの対策を講じています。



2 洪水により川の水位が高くなると、川の水が樋門・樋管を通して住宅側に流れ込み(逆流)、浸水被害が発生するため、樋門・樋管の扉を閉めます。



4 川の水位が低くなり、住宅地への逆流の心配がなくなったら、樋門・樋管の扉を開け住宅地に貯まった水を川に流します。

油流出事故にぜひ注意ください

冬期間は、暖房用の燃料給油、積雪や路面凍結による自動車事故、大雪による配管の破損等などが原因の水質事故が増えます。水質事故は、突発的に発生し、下流へ拡散すると魚類のへい死や水道水等の取水停止など、環境や飲み水にまで影響する大きな被害につながる恐れがあります。給油中は、その場から離れないよう一人一人の心がけが大切です。もしも、油流出事故が発生した場合、早期発見・早期対応が被害拡大を防止します。また、流出した油を水で洗い流すことは被害拡大に繋がりますので絶対にやめましょう。



ホームタンク周辺の積雪



ホームタンク周辺の落雪



落雪によるホームタンクの転倒

油流出事故を防ぐための心がけ

- ①給油中はその場から離れない
- ②配管の場所には目印をつける
- ③落雪によるタンクの転倒に注意
- ④定期点検を怠らない



不法投棄は犯罪です

不法投棄は景観を損ねるのはもちろん、水質の悪化や土壌汚染問題に繋がるだけでなく、場合によっては増水時に樋門・樋管の出口を塞ぎ操作が困難になるなど重大な影響が考えられます。鮭川出張所では河川のパトロールをし、不法投棄を厳しく取り締まっています!!

河川の不法投棄や異常を発見した場合は鮭川出張所にご連絡下さい。

国土交通省 新庄河川事務所 鮭川出張所 ☎：0233-55-3020

今月の風景

～ 鮭川出張所管内をめぐる～

時代は大きく変化しても、止まることなく流れ続ける川。その川に沿って街をめぐり、その街の風景などを紹介していきたいと思います。第8回目は金山町の「大堰」を紹介します。



金山大堰は城下村落の農業用水として、また、近世宿場集落の農業および生活用水として利用されてきましたが、老朽化が進み、「農村総合整備モデル事業」の一環とし、昭和52年から58年にかけて総延長2,564mの水路改修が行われました。本水路に沿って遊歩道が設けられ、その沿道には桜が植樹されています。水路本体は従来のコンクリート造りではなく雑割石が用いられています。さらに、河川美化に対する啓蒙普及活動のため錦鯉が放流されており、現在大堰は、町の景観施策のシンボルとなっているようです。

お問い合わせ

国土交通省 新庄河川事務所 鮭川出張所

〒999-5203 山形県最上郡鮭川村大字川口字鶴田野3018-4

TEL 0233-55-3020 FAX 0233-55-3083

HP: <http://www.thr.mlit.go.jp/shinjou/>

広報紙担当: 齋藤・小野

広報紙に関するご意見・ご感想をお寄せ下さい。